

ウォールストリート、反キリスト、そしてラッパの祭り

2008年9月29日 アシェル・イントレーター

ニューヨークのダウタウンには、ウォールストリート、グラウンドゼロ(注)、そして国連本部が近接して建っています。アメリカ経済は証券市場を通して世界中とつながっており、それゆえ現在のアメリカの経済危機は実際には世界経済危機なのです。以下が祈りの焦点です。

訳注「グラウンドゼロ」:世界貿易センタービルが建っていたところ。2001年9月11日の同時多発テロで、2棟とも壊滅したその跡地をグラウンドゼロという。別の意味は原爆投下などの「爆心地」も指す。

1. **貪欲**—主よ。私たちの社会にあまりにも蔓延している貪欲、汚職、情欲、暴食、不精、そして快樂中毒にある人々に成り代わって私たち自身も悔い改めます。それらによって裁きを私たちにもたらしているからです。
2. **自己満足**—主よ。メシアニック・ジューであろうとクリスチャンであろうと、私たち信者の中においても顕著な自己満足、快適さを求めること、消費者主義、そして自己中心を悔い改めます。**アモス 6:1,3—ああ。シオンで安らかに住んでいる者、(中略)あなたがたは、わざわいの日を押しつけている、と思っているが、暴虐の時代を近づけている。**
3. **憐れみ**—私たちは憐れみを求めて叫びます。どうかイエシュア(イエス)の血潮による契約の恵みに値する者として、私たちの罪に対する裁きから救い出して下さい。この危機ゆえに苦しみ、死ぬことになる多数の家族や子どもたちを救い出して下さい。
4. **労働倫理**—私たちは聖書的価値観である勤勉さ、誠実さ、正直な働きに対する偽りなき報酬に立ち戻れますように。
5. **借金の奴隷**—父よ。あなたは、借金は奴隷状態であると言われました(申命記 28:44、箴言 22:7)。私たちは自分自身を短絡的な快樂や贅沢のための奴隷に身売りしてしまったことを告白します。金融機関の指導層は我々を、不当に暴利をむさぼるための奴隷として売りました。
6. **政府指導者たち**—どうか政府指導者が正しい決断ができるよう、現在の危機に対処できるように知恵を与えて下さい。(しかし、現在の「不良債権買取り」プランは解決策ではありませんが、真の解決策のための正しい尺度を見出すために回避できない手順を踏んでいるのだと思われます。)
7. **韓国**—1997年に韓国の市場が大暴落した時、韓国人は国際通貨基金から大量の資金を借り、儉約の方向へと進み、朝から晩まで働いて借金を返し、10年後自国の経済を回復するすばらしい働きをしました。

8. **ネタニヤフ**—5年前イスラエル経済は破綻の瀬戸際にありましたが、ベニヤミン・ネタニヤフは財務長官の地位に就き、荒治療を導入してイスラエル経済の安定にまでこぎつけました。
 9. **経済界の指導者**—私たちは世界中の経済界指導者が誠実な雇用、貧困との戦い、環境保護、労働倫理と家庭の価値の促進を提供すること、石油依存に対する解決策の提供、共産主義やイスラム主義による奪取に対決する自身の責務を果たすよう祈ります。
 10. **獣の政府**—聖書は、終わりの時に魔力によって力を受けた人々によって指導される悪の帝国が、いくつかの政府を統合すると説明しています(**黙示録 13:1**)。そのような連合国家が世界の経済システムを牛耳ることになります。(黙示録 13:17—あの獣の刻印を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。)
 11. **ヒトラー、スターリン、毛**—1929年の世界大暴落と1930年代の大恐慌はヒトラー、スターリン、そして毛による暴力的、獣のような政府に扉を開けてしまいました。現在の経済危機は反キリストの霊が忍び入って来る危険な始まりです。
 12. **安定**—「安定」は経済の霊的戦略のキーワードです。私たちは獣の政府の始まりが現在の危機によって始まるその扉が閉まるよう祈り、反キリストの霊を押し戻し、世界経済の安定のために執り成します。
 13. **ジハード・ゴスペル(注)**—ジハードによる「ゴスペル」は数語の言葉に集約できます、「イスラム教への改宗か死か」。アフマディネジャド大統領(訳注:イラン現大統領)が国連で語った時、この危機の間、彼は「平和と愛」を装って同じメッセージを語りました。この欺きの霊は**黙示録 13:11**で語られた霊と似ています。「**それには小羊のような二本の角があり、竜のようにものを言った。**」
- 訳注「ジハード・ゴスペル」:イスラム原理主義が掲げる「聖戦」—すなわち異教徒を一人でも多く殺すことによって天で報いを受ける思想。その「福音」すなわちメッセージを表す。ジハード・ゴスペルを「聖戦の福音」と直訳すると意味が失われるのでカタカナ表記にしています。
14. **破壊は建設よりも簡単**—ジハードの戦略は破壊、破壊、破壊です。それはあたかも浜辺にいるいじめっ子が他の子どもたちが作った砂のお城を蹴り飛ばすようなものです。「ツインタワー(訳注:NYにあった世界貿易センタービル)」を破壊する技術よりも、それを建造するのに必要な技術的尽力は巨大です。最終的に、もし一方が破壊ばかりするならば、もう一方は建造するのに追いつかなくなります。
 15. **テロによる経済への影響**—イスラエルが見出したことは、テロの最大の問題は大勢の人が殺されることよりも、将来の攻撃に対して警察、軍、警備員に継続して資金投入する巨額な経済

負担でした。最初の段落や2番目の段落で述べた肉の罪に加えて、現在の経済危機のもう一つの理由はテロに対する戦争や膨らんだ石油価格です。

16. **義なるビジネスマン**—私たちはこの間の時代に生まれ変わりを経験した、霊に満たされたビジネスマンが立ち上がることを祈ります。箴言 13:22—「**罪人の財宝は正しい者のためにたくわえられる。**」神の聖徒たちが誠実と惜しみない心で指導権を握り世界的資源と資金を所有することができるように。
17. **ヨセフ**—古代エジプトで金融危機に陥った時、政府や経済に対して影響力のある者として、ヨセフが台頭しました。ヨセフのような指導者(あるいは指導者たち)がこの時台頭し現在の危機に対して神による解決策をもたらしますように。それはダビデが現在のゴリアテを倒すように。
18. **信仰による惜しみなさ**—イサクはききんの間種を蒔いて 100 倍の収穫を上げました(**創世記 26 章**)。私たちは恐れを叱責しこの時惜しみなく与え続けるようにしましょう。私たちは「戦略的に与える」部門に、さらにこの時積極的に貧しい人に与え、イスラエルにいる信者たちを助け、パレスチナ宣教を支援し、そして世界中にイエシュアの御国の良き知らせを述べ伝えるために宣教師を派遣するよう指示を与えました。私たちの働きにどうか加わって下さい。
19. **闇の中の光**—ここ数ヶ月に地上を覆う闇や濃い霊的な霧を通してでも、神の栄光は私たちを照らします(**イザヤ 61:1-2**)。闇の一部は 30 日間のイスラムの断食であるラマダンの結果で、それは今年のカレンダー(注)の明日(9月 30 日)に終了し、ラッパの祭り(注)と聖書的な秋の例祭が始まります。

訳注: 聖書暦のことで、9月 29 日で聖書暦 5768 年が終わり、9月 30 日に聖書暦 5769 年が始まる。9月 30 日が聖書暦 5769 年の開始で第1日目に「ラッパを吹き鳴らす祭り」がある。

20. **勝利のラッパ**—明日(9月 30 日)私たちは**レビ記 23 章**で神が命じられた通りにラッパ(角笛)を吹き鳴らします。ラッパは終わりの時の勝利のしるしです。エリコで7度目のラッパが吹き鳴らされた時、人々は立ち上がって「**ときの声をあげなさい。主がこの町をあなたがたに与えてくださったからだ。**」**ヨシュア記 6:16** 第7の御使いがラッパを吹き鳴らした時、私たちは叫びます。「**この世の国は私たちの主およびそのキリストのものとなった。主は永遠に支配される。**」**黙示録 11:15**